

令和4年度全国学力・学習状況調査の結果について

このことについて、調査結果が文部科学省から情報提供がありましたので、別紙資料に基づき報告します。

令和4年9月5日

義務教育課

「令和4年度全国学力・学習状況調査」の愛知県の結果について

2022年4月19日（火）に小学校6年生と中学校3年生を対象に実施されました「全国学力・学習状況調査の結果」について、文部科学省から情報提供がありましたので、本県の結果（名古屋市、特別支援学校を含む）の概要についてお知らせします。

1 本県の実施状況

	学校数（校）		児童・生徒数（人）	
	愛知県（公立）	全国（公立）	愛知県（公立）	全国（公立）
小学校・小学部	970	18,671	64,852	965,761
中学校・中学部	423	9,348	60,625	892,585

2 教科に関する調査の結果

○ 本県の調査区分ごとの傾向（公立）

校種	調査区分 【問題数】	県 / 全国 上：平均正答率（%） 下：〈平均正答数〉（問）	主な傾向 （平均正答率と正答数別の分布の全国との比較）	2021年度調査の結果 （理科：2018年度の結果）
小学校 6年生	国語 【14問】	63 / 65.6 〈8.9 / 9.2〉	全国平均より低く、成績上位層も少ない。	62 / 64.7 〈8.7 / 9.1〉
	算数 【16問】	63 / 63.2 〈10.0 / 10.1〉	正答率、分布ともに全国平均とほぼ同程度である。	70 / 70.2 〈11.2 / 11.2〉
	理科 【17問】	61 / 63.3 〈10.3 / 10.8〉	全国平均より低く、成績上位層も少ない。	58 / 60.3 〈9.4 / 9.6〉
中学校 3年生	国語 【14問】	69 / 69.0 〈9.7 / 9.7〉	正答率、分布ともに全国平均とほぼ同程度である。	64 / 64.6 〈9.0 / 9.0〉
	数学 【14問】	54 / 51.4 〈7.6 / 7.2〉	全国平均より高く、成績上位層も多い。	58 / 57.2 〈9.3 / 9.1〉
	理科 【21問】	51 / 49.3 〈10.7 / 10.4〉	全国平均より高く、成績上位層も多い。	68 / 66.1 〈18.4 / 17.9〉

- ・ 国語、算数・数学に加え、3年毎に実施される理科が調査対象となった。本来、理科は2021年に実施の予定であったが、新型コロナウイルスの影響のため、2022年に延期実施となった。
- ・ 全国の前平均正答率は小数第1位、都道府県の前平均正答率は整数値で公表されている。
- ※ 2021年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、約1か月遅れて実施した。

○ 本県の傾向

- ・ 小学校における前平均正答率は、国語と理科のいずれも全国平均より低く、また、成績上位層も少ないという特徴が見られた。算数は全国平均とほぼ同程度であった。
- ・ 中学校における前平均正答率は、数学と理科のいずれも全国平均より高く、また、成績上位層も多いという特徴が見られた。国語は全国平均とほぼ同程度であった。

3 児童生徒質問紙調査の結果

- ・ 児童生徒質問紙調査は、希望した109校で、端末を活用したオンラインによる回答を行った。

(1) 全国と比較して、本県児童生徒のよいところが見られる項目

項 目	県/国 (%)	差	
小学校 6年生	・自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している。	66.9 / 65.4	+1.5
	・今住んでいる地域の行事に参加している。	55.6 / 52.7	+2.9
中学校 3年生	・自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している。	65.9 / 63.3	+2.6
	・今住んでいる地域の行事に参加している。	41.7 / 40.0	+1.7

(2) 全国と比較して、本県児童生徒の課題が見られる項目

項 目	県/国 (%)	差	
小学校 6年生	・難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦できる。	69.6 / 72.5	-2.9
	・家で、自分で計画を立てて勉強している。 (学校の授業の予習や復習を含む)	66.0 / 71.1	-5.1
中学校 3年生	・学習の内容について、分かった点や、分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる。	72.5 / 74.7	-2.2
	・難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦できる。	63.1 / 67.1	-4.0

(3) 傾向と考察

- ・小・中学校とも「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している。」「今住んでいる地域の行事に参加している。」と回答した児童生徒の割合が、全国平均より高い。
- ・小学校では、「家で、自分で計画を立てて勉強している。」と回答した児童の割合が、全国平均より低い。
- ・中学校では、「難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦できる。」と回答した生徒の割合が、全国平均より低い。

4 調査結果を活用した愛知県の取組

- (1) 全国学力・学習状況調査の結果を詳細に分析し、県としての課題を明確にする。
- (2) 分析結果から得られた課題に対する具体的な授業改善等の解決策を示した「授業アドバイスシート」を取り入れた「学力・学習状況充実プラン」を12月までに作成・配付して、各市町村教育委員会及び各小・中学校の課題を解決するために活用を促す。
- (3) 個に応じたきめ細かな指導を行うために、小学校では、少人数学級を拡充、中学校では、少人数指導を充実させていく。
- (4) 「深い学び」を実現する指導と評価の改善に関する研究を大治町に委嘱し、その取組内容を各市町村教育委員会及び小・中学校に対して広く周知する。

5 市町村別、学校別の平均正答率等の公表について

県としては、本調査の実施要領に則り、市町村別、学校別の平均正答率等を一覧にした公表は行わない。

※ 本調査の実施要領は、文部科学省 Web ページを参照

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gakuryoku-chousa/zenkoku/1411707_00009.htm

全国学力・学習状況調査の結果に対して情報公開 請求があった場合の県の対応について

愛知県教育委員会は、全国学力・学習状況調査の結果に対して情報公開請求があった場合に、以下のとおり対応する予定ですが、各市町村教育委員会におかれましても、「令和4年度全国学力・学習状況調査に関する実施要領」及び本書を参考にして、適切な対応をお願いします。

なお、情報公開請求に対する開示・不開示の判断は、それぞれの地方公共団体における条例に基づいて行われるものであり、本書に基づく愛知県教育委員会の対応と必ずしも同様の対応が必要となるわけではありません。

1 愛知県教育委員会において情報公開請求の対象となる可能性がある情報

- ① 学校別の調査結果、② 市町村別の調査結果、③ 教育事務所別の調査結果
- ④ 県全体の調査結果

2 学校別の調査結果の情報開示について

(1) 愛知県教育委員会が開示する場合の基本的な考え方

愛知県教育委員会は、少なくとも全国学力・学習状況調査の調査結果については、参加主体である各市町村教育委員会に、公表に関する方針、開示に対する同意の有無等を確認の上、各市町村教育委員会が公表又は慣行として公とする情報は開示とする。残りの部分については、実施要領により定められていることを十分に留意した上で、下記(2)の考えに基づき開示・不開示の決定を行う予定である。

(2) 開示する場合の具体的な開示部分についての考え方

ア 平均正答数、平均正答率、中央値、標準偏差など児童生徒の学力に関わる結果については、学校別及び市町村別の一覧等を開示することで序列化や過度な競争を煽って本調査に具体的な支障を及ぼす恐れが高いことから、学校別及び市町村単位の結果は原則不開示と考えています。

イ 学習状況を調査する質問紙調査については、開示しても序列化や過度な競争を煽って、本調査に具体的に支障を及ぼすおそれが生じる可能性は低いことから、原則開示と考えています。